

平成22年度 事業報告

附 岡山理科大学附属高等学校

建学の理念の原点に立ち返って、これまで以上に、生徒・保護者・地域社会から信頼される学校づくりを推進します。



1) 生徒一人ひとりの学力を向上させ、満足のいく進路実現を保証します。

2) 礼儀正しく、品位ある生徒を育てます。

3) 教員の意識改革及び資質向上を図り、安心して子供の教育を任せられる学校であるとの評価を確立します。

学力向上と進路実現のため、授業改善・学習支援に取り組むとともに、関連大学との実効性のある高大連携を推進し、関連大学への進学者の増加を目指します。

品位ある生徒の育成のため、基本的な生活態度の確立(とくに挨拶の励行、身だしなみの指導、遅刻の防止、朝読書の実施)に努めます。

危機感をバネに、学校組織、学校運営を改革し、教職員の意識の活性化を図るため教職員研修にも力を入れ、教職員集団が、それぞれの持ち味を活かしながらチームワークを發揮し、充実した教育活動が実践できるように努めます。

信頼される学校づくりのため地域社会との交流の機会を増やし、それに加えて時代や社会のニーズに対応した科・コースの特色・魅力アップを実施していきます。

岡山理科大学附属高等学校 校長 橋爪 道彦

関連校との連携による質の高い教育の提供

■出張講義の活用

- ・進学理大コース (岡山理科大学全学科より)
- ・健康・スポーツコース
(倉敷芸術科学大学健康科学科より)
- ・アニメ・デザインコース
(倉敷芸術科学大学芸術学部より)
- ・生命動物コース
(岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・岡山理科大学専門学校生命・動物系学科より)
- ・機械科、電気情報科
(岡山理科大学 工学部より)
- ・進学医療コース
(玉野総合医療専門学校・理大より)

■校外学習の推進

- ・岡山理科大学での情報系科目の受講
- ・岡山大学による高校生向け科目の受講
- ・科学の祭典等への参加
- ・倉敷芸術科学大学での実習 (アニメ・デザインコース)
- ・池田動物園・理専での実習 (生命動物コース)
- ・吉備国際大学短期大学部での受講 (通信制課程)
- ・玉野総合医療専門学校での見学実習
(進学医療コース)

学校内での学力向上取組

- ・朝の読書の実施
- ・シラバスの作成
- ・学校関係者評価の実施
- ・補習・諸検定試験の実施、模試の活用
- ・各学年毎に生徒・保護者対象の進路ガイダンスの実施
- ・英数学館高校との合同で河合塾による演習講座の開講
- ・灘高校の教員による夏期休特別講義の実施

生徒指導への取組

- ・朝のあいさつ運動の実施・休み明けの遅刻防止強化週間の設定
- ・PTAと協力しての保導活動（街頭保導・列車保導・バス乗車指導）の実施
- ・教育相談室・保健室と担任・生徒部・管理職との連携強化
- ・岡北セーフティネットを通じて地域との協力・連携強化

教職員への資質向上への取組

- ・研究授業の毎学期実施
- ・教職員・保護者対象の各種研修会の実施
- ・教職員・保護者対象の関連大学見学ツアーの実施
- ・予備校主催の受験指導講座への参加
- ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）申請は不採択となり、継続事項となる
- ・サイエンスパートナーシッププロジェクト（SPP）申請が採択される
- ・新学習指導要領への取組
- ・道徳教育計画の策定
- ・総合的学習計画の策定
- ・インターシップ実施計画の策定

22年度新設学科・コース等

■進学医療コース

少子・高齢化の中、医療従事者へのニーズが高まることを予想して、関連大学・専門学校医療関連学科との連携・協力のもと、進学医療コース（定員30名）を普通科に設置しました。

■アニメ・デザインコース（情報・デザインコース名称変更）

普通科情報・デザインコースをアニメ・デザインコースに名称変更しました。アニメ・デザインコースでは、デザイン分野に加えてアニメーションを取り入れることにより、Webデザイン等にも応用できます。倉敷芸術科学大学の芸術学部との連携も積極的に行いました。

■進学総合コース（普通コース名称変更）

普通科普通コースを進学総合コースに名称変更することにより、本校の他コース（特別進学コース、進学理大コースなど）との違いを明確にしました。

申請・届出関係

■特別進学コースの改革

特別進学コースは、国公立大学進学を目的として設置され、一定の進学実績を挙げています。本校科・コースの中でもっとも志願者数の多いコースであり、その多くは公立進学校との併願志願者で高学力層です。ここ数年このコースの志願者が減少していますが、その要因は他の私立高校が特別進学コースの特色化に力を注いでいて、そちらに志願者が流れていると考えられます。従って本校特別進学コースの魅力を高め特色化を図り志願者増を目指す事が急務であり、国公立大の医歯薬獣医系並びに難関国立大理系学部への進学を実現させるトップグレードクラスと国公立大学への進学をサポートするサクセスクラスを新たに設置し、成績上位者層の確保を目指しました。

課外活動

- ・アイススケート部フィギア競技でインターハイ国体において優勝。また、世界Jrオリンピックにおいては銀メダルを獲得。
- ・アーチェリー部はインターハイ・国体において団体3位
- ・その他多くの部がインターハイに出場しました。

就職活動支援

早い時期からの進路目標確立のため、学年別・進路先別にガイダンス、講演会を計画、また各コースにおいても生徒、保護者対象に進路説明会を実施して、生徒の進路意識を高めると同時に生徒一人ひとりに適した進学・就職先を指導しました。

また、昨年同様に有名難関大学の指定校獲得のため、可能な限り大学訪問を行い、就職先ではより有名、優良企業の求人確保のため、企業訪問を実施しました。

生徒募集

入試広報部と中高入試広報室とが共同できめ細かい広報活動を行いました。また、3月下旬に入学生、在校生の状況確認、報告をするための中学校一斉訪問からスタートしました。7月、10月にオープンスクールを行いましたが、それとは別に8月に部活動中心のオープンスクールも行い勉強・スポーツ両面から紹介しました。その他学校説明会（中学校、塾、生徒・保護者対象）、入試セミナー等を開催し1人でも多くの生徒を獲得していきたいと考え、その内容は紹介資料が生徒一

人ひとりに行き渡るようセットし中学訪問をしました。また昨年同様DVDを作成し、高等学校だけでなく加計学園、グループの大きさを理解していただきながら募集をかけていきました。入試についても本校ならではの地方会場（本校、倉敷、玉野、高梁）を設け他校に無いことを遂行して行き、そのためにもニーズにあったコース、学科を考え、常に前を見据えた広報活動を展開しました。

主な行事

4月 8日	始業式
4月 9日	入学式
4月16日	交通安全講習会
4月30日	創立者の日
5月15日	PTA総会
6月22日 ～23日	球技大会
7月17日	第一回オープンスクール
8月31日	全校集会
9月22日	体育祭
10月 1日	文化祭
10月23日	第2回オープンスクール
1月27/28日	選抜I期入試
3月 1日	卒業式

生徒・教職員数

■在籍生徒数

(平成22年5月1日現在)

課程・学科・コース名			入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
全 日 制	普 通 科	進学総合コース		77		243
		特別進学コース		53		159
		中高一貫コース		22		58
		進学理大コース		57		166
		健康・スポーツコース	380	59	1,140	147
		アニメ・デザインコース		32		75
		生命動物コース		32		90
		進学医療コース		12		12
		普通科 計		344		950
		課 程	機械科	80	68	240
電気科	(募集停止)		—	(募集停止)	—	
情報科	(募集停止)		—	(募集停止)	—	
電気情報科	40		26	120	90	
全日制課程 計	500		438	1,500	1,254	
通信制課程 (広域)普通科					600	304
総合計			500	438	2,100	1,558

(単位:人)

■教職員数

(平成22年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員 計	事務職員
(1)※	4	71	75	17

※校長は大学教員と兼務

(単位:人)

■卒業生数等一覧

(平成22年度)

区分	卒業生	就職希望者	就職者	就職率	進学希望者	進学者	進学率	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
		A	B	B/A	C	D	D/C			
全日制課程	403	78	67	86%	325	313	96%	15	0	2
通信制課程	111	7	7	100%	27	27	100%			

※ 修業年限を超えて在籍している学生数(平成23年4月1日現在)

(単位:人)

主な就職先	(株)サノヤス・ヒシノ明昌 水島製鉄所、JFEメニカル(株)倉敷事業所、三菱自動車工業(株)水島製鉄所、(株)豊田自動織機、(株)デンソー、(株)中国フジパン、(株)王将フードサービス 他
主な進学先	島根大学、岡山大学、香川大学、山口大学、慶応義塾大学、立命館大学、関西大学、同志社大学、岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、千葉科学大学、吉備国際大学 他

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度	22年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入		803,881	797,548
補助金収入		390,868	386,938
その他収入		98,804	174,119
帰属収入合計		1,293,553	1,358,605
基本金組入額合計		△ 280,150	△ 153,289
消費収入の部合計		1,013,403	1,205,316
人件費		1,087,223	1,229,114
教育研究経費		262,876	244,701
管理経費		154,242	144,156
その他支出		52,871	57,531
消費支出の部合計		1,557,212	1,675,502

■施設設備整備計画（抜粋）

(単位:千円)

事業名	金額
笹ヶ瀬土地購入	177,492
50周年記念館新築工事	59,000
建仮 総額	(515,000)
硬式テニス場女子トイレ及び更衣室 整備	4,500
東寮旧館の解体	7,900